

1. 主な研究内容について

特別支援教育/インクルーシブ教育、発達障がい領域の作業療法などに関する研究テーマに取り組んでいます。

主な研究は以下の通りです。

- ・「自閉スペクトラム症児の食具操作支援を目的とした深層学習を用いた動作解析」
(2020年度女性研究者 研究実践力強化支援プログラム RESPECT・研究代表者)
- ・「自閉スペクトラム症児の食に関する行動障がいへの支援法の開発」(科研・研究代表者)
- ・「自閉症スペクトラム児の食に関する行動障がいの重症度を測定する尺度の開発」(科研・研究代表者)
- ・「通常の学級に在籍する児童への作業療法士のコンサルテーション・モデルの実証的研究」(科研・研究分担者)
- ・「要支援者自身がIADL能力の程度と変化を捉える評価尺度の開発」(科研・研究分担者)

2. 主な共同研究先

福島県立医科大学、京都橘大学、藍野大学、白鳳短期大学、関西福祉科学大学、広島大学、コクヨ株式会社、合同会社BASEと
もかな、特別支援学校、こども園など

3. 今まで指導した学位論文名

なし

4. 主な論文

- ・ Yasuhiro Higashi, Shinichi Takabatake, Asako Matsubara, Koji Nishikawa, Toshikatsu Kaneda, Kazuyo Nakaoka, Yuta Somei, Guðrún Árnadóttir: Neurobehavioral Impairment Scale of the A-ONE J: Rasch Analysis and Concurrent Validation. Asian Journal of Occupational Therapy 19(1)p30-37.2023.
- ・ Kazuyo Nakaoka, Hiroyuki Tanba, Takuma Yuri, Kiyomi Tateyama, Shigeki Kurasawa: Convergent validity of the Autism Spectrum Disorder Mealtime Behavior Questionnaire (ASD-MBQ) for children with autism spectrum disorder. PLoS ONE 17(4): e0267181. 2022.
- ・ 倉澤茂樹、立山清美、塩津裕康、中岡和代、大歳太郎：問題行動を呈する児童への作業療法士による学校コンサルテーション. 作業療法 40(3)p359-369.2021.
- ・ Kazuyo Nakaoka, Shinichi Takabatake, Kiyomi Tateyama, Shigeki Kurasawa, Hiroyuki Tanba, Ryouhei Ishii, Yasuhiro Higashi, Toshikatsu Kaneda: Structural Validity of the Mealtime Behaviour Questionnaire for Children with Autism Spectrum Disorder in Japan. Journal of Physical Therapy Science 32(5)p352-358.2020.
- ・ 中岡和代、立山清美、倉澤茂樹、丹葉寛之、高畑進一：自閉スペクトラム症児の食に関する行動を測定する尺度の開発—妥当性と信頼性の検討—. 作業療法 38(2)p151-162.2019.
- ・ Miyajima, A, Tateyama, K, Fuji, S, Nakaoka, K, Hirao, K, Higaki, K: Development of an intervention programme for selective eating in children with autism spectrum disorder. Hong Kong Journal of Occupational Therapy 30p22-32.2017.
- ・ 倉澤茂樹、立山清美、中岡和代、福井信佳、大歳太郎：食に課題のある児童生徒への栄養教諭と作業療法士の協働の有効性の検討. 作業療法 37(3)p323-329.2018.

5. 現在の指導している大学院生数

M2：1名

6. どのような大学院生の受け入れを希望するか？

特別支援教育/インクルーシブ教育、発達障がい領域の作業療法などに関する研究テーマに対して、興味関心があり、意欲的に探究される方を希望します。事前にご相談ください。